

お手入れ

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
- フタパッキン・シールパッキンを取りはずし、きれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	キャップユニット		本体	
	フタ キャップ本体	フタパッキン シールパッキン	内側	外側
流水洗い	○	○	○	○
つけ洗い	○	○	○	×
漂白剤	酸素系	○	○	×
	塩素系	×	○	×
食器洗浄機	×	○	×	×
食器乾燥機	×	○	×	×

ハンディポーチ	○手洗い ✕洗濯機	水または40度以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。
---------	--------------	-------------------------------------

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

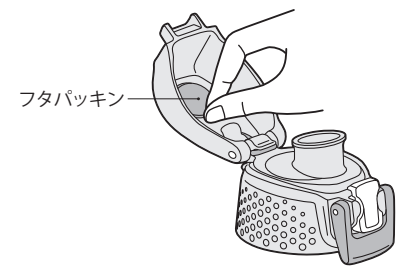
- 煮沸はしないでください。
✕ 熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。
- 本体は水中に放置しないでください。
✕ すきまに水が浸入してさびや保冷不良などの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(パッキンは除く)
✕ さびや保冷不良の原因になります。またキャップユニットの故障の原因になります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。(パッキンは除く)
✕ 熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどはがれの原因になります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
✕ さびや傷・故障などの原因になります。
- 本体外側は漂白剤を使用しないでください。
✕ 塗装・印刷・シールなどはがれの原因になります。

フタパッキン・シールパッキンのはずし方・取り付け方

■キャップユニットのはずし方【P.5】

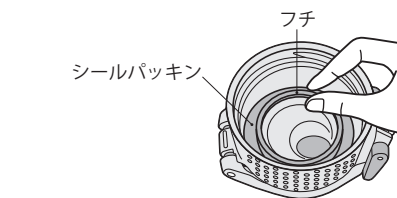
①フタパッキンのはずし方

フタとフタパッキンの間に指を入れ、フタパッキンのフチをめくり、取りはずします。



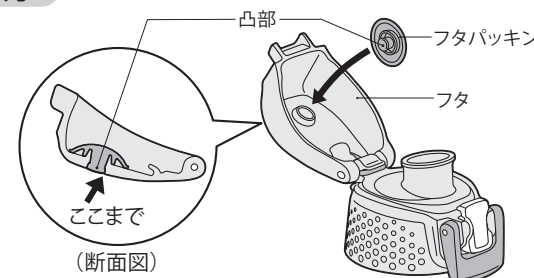
②シールパッキンのはずし方

シールパッキンのフチをつまみ、取りはずします。



③フタパッキンの取り付け方

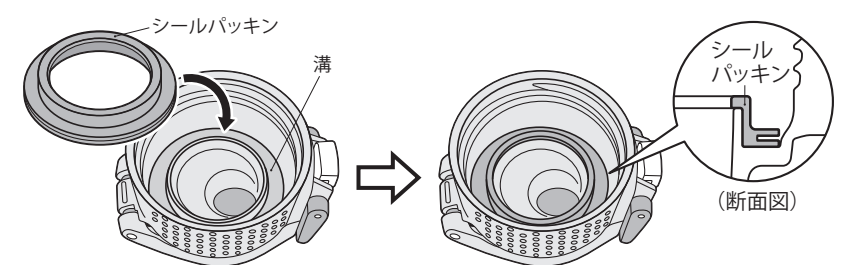
フタパッキンの凸部をフタの丸い穴に確実に押し込みます。



④シールパッキンの取り付け方

図の位置に全周にわたってはめ込みます。

取り付け後はシールパッキンが浮かないように指でまんべんなく押しします。



【普段のお手入れ】

- ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤でよく洗い、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

キャップユニット フタ・キャップ本体・フタパッキン・シールパッキン	やわらかいスポンジを使用してください。 ※お手入れの後はパッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。【P.8③、④】
本体	やわらかいスポンジやボトルブラシを使用してください。外側はすぐに乾いた布で拭いてください。 ※水滴の跡やさびの原因になります。

【念入りのお手入れ】

- 台所用漂白剤の注意表示に従い使用し、すすいだ後は、よく水を切り、十分乾燥させてください。

キャップユニット フタ・キャップ本体・フタパッキン・シールパッキン	〈茶しぶなど〉 ポウルなどの容器に漂白剤と水を入れ、各部品を浸けてください。(目安30分) ◀ 禁止 ▶ フタ・キャップ本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。 ※さびやキャップユニットの故障の原因になります。
--------------------------------------	--

本体内側	〈茶しぶなど〉 内側のみ酸素系漂白剤またはポット用洗剤を使用してください。(目安30分) ◀ 禁止 塩素系漂白剤 ▶ キャップユニットは取り付けしないでください。 ※本体の内圧が上がり、キャップユニットが飛び出すなど危険です。 〈斑点状の赤いさび〉 水に含まれる鉄分などが付着したものです。ぬるま湯で10%程度に薄めた食酢を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。 〈ザラザラしたもの〉 水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を1~2%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
------	---

こんなときは…

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
キャップユニットから漏れた	キャップユニットが確実に閉まっていない	キャップユニットは確実に閉めてください。【P.5③】
	フタが確実に閉まっていない	フタは確実に閉め、ロックリングを確実にロックしてください。【P.5③、P.6②】
	飲みものを入れすぎている	飲みものは規定の量までにしてください。【P.5②】
本体内側が変色した	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を使用してください。【P.9】
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を使用してください。【P.9】
保冷が効かない	十分に冷たい飲みものをに入れていない	冷たい飲みものをに入れてください。また、あらかじめ本体内側を予冷しておくとう効果的です。
異臭がする	飲みものの量が少ない	氷や飲みものの量を増やしてください。
	本体内側やキャップユニットに汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤またはポット用洗剤を使用してください。【P.9】
パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。【P.9】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の「パッキンセット」をお買い求めください。【P.11】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先にご連絡ください。【P.11】

交換用部品(別売)のお求め方法

品番	交換用部品名	メーカー希望小売価格
FFZ-802FS	F F Z パッキンセット※1	200円+税
	F F Z キャップユニット※2	700円+税
	F F Z ハンディポーチ※3	1,500円+税

- ◆交換用部品のキャップユニットにつきましては1色のご用意、ハンディポーチにつきましてはそれぞれのキャラクターのご用意となります。お買い上げいただいた商品と同色でのご用意ができない場合がございます。ご了承ください。
- ※1 FFZパッキンセット(フタパッキン・シールパッキン各1個)
- ※2 FFZキャップユニット(パッキンセット付)
- ※3 FFZハンディポーチ(ショルダー・ヒモ付き)

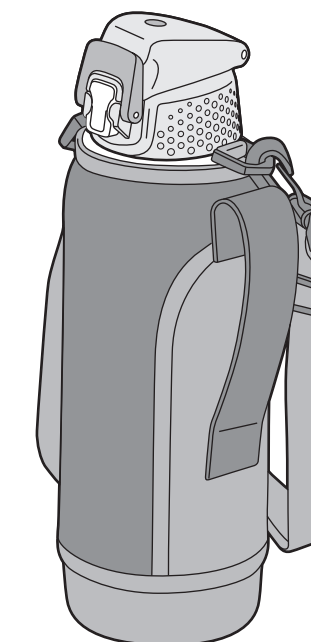
上記交換用部品につきましては、お近くのサンリオ商品取扱店におきましても取り寄せができませんので、お問い合わせください。なお、お電話にてご注文を承ります時は、別途送料はお客様の負担となりますことをあらかじめご了承ください。

取扱説明書

品番: FFZ-802FS

重要 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。部品購入時に必要になりますので捨てずに保管してください。

保冷専用

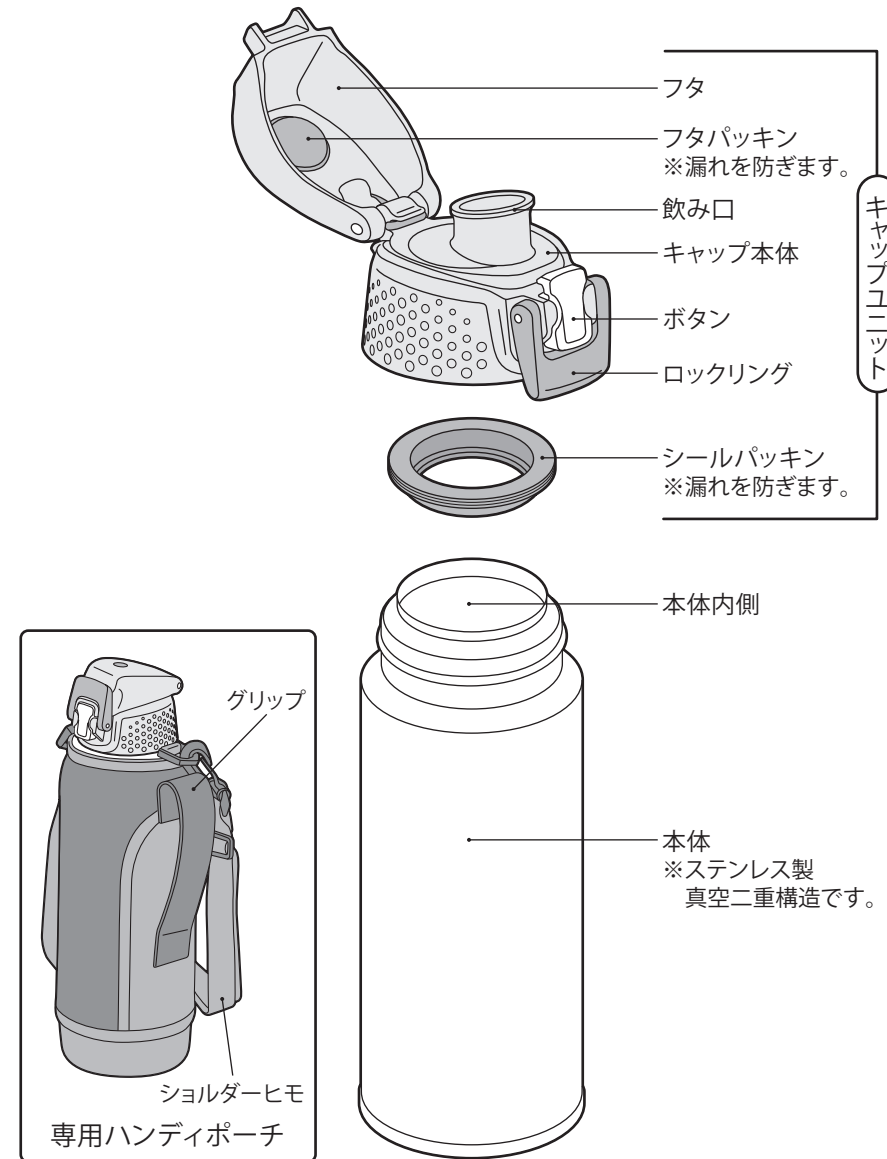


もくじ

ご使用前に	P.1	各部のなまえ
	P.2	安全上の注意
	P.4	使用上のお願い
ご使用方法	P.5	使い方
	P.7	お手入れ
困ったとき	P.10	こんなときは…
	P.11	仕様
	P.11	交換用部品(別売)のお求め方法
	P.11	お問い合わせ

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



キャップユニットは2つの専用パッキンを正しく取り付けてください。
※漏れの原因になります。

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

警告 死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
注意 軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

禁止 してはいけない内容を示しています。
必ず行う 必ずお守りいただく内容を示しています。

警告

禁止 保護者の目の届かないところで使用させないでください。また乳幼児のいたずらには十分に注意してください。
※小さな部品を誤飲して窒息する原因になります。また、けがの原因になります。



禁止 熱い飲みものは入れないでください。
※熱い飲みものが直接口内に入るため、やけどの原因になります。
※内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがややけどの原因になります。



禁止 乳幼児・小学生のお子様はハンディポーチのショルダーヒモを首からかけずに肩からななめ掛けしてください。
※ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。



禁止 ハンディポーチのショルダーヒモをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。
※ショルダーヒモが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

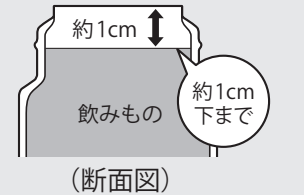
注意

禁止 飲み物を入れる目的以外に使用しないでください。
※けがなどの原因になります。

禁止 ストープやコンロなどの火気に近づけないでください。
※やけどの原因になります。また部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。



必ず行う 飲み物の量は図の規定位置までにしてください。
※入れすぎると、キャップユニットを開めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、ものを汚す原因になります。



必ず行う キャップユニットは確実に閉めてください。【P.5】
※漏れてものを汚す原因になります。

禁止 落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
※けがや漏れてものを汚す原因になります。また保冷不良やキャップユニットの故障の原因になります。

必ず行う キャップユニットは2つの専用パッキンを正しく取り付けてください。【P.8】
※漏れてものを汚す原因になります。

禁止 飲み物を入れた状態で長く放置しないでください。
※飲み物の腐敗や変質の原因になります。また腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

必ず行う 製品には必ず専用の部品を取り付けてください。
※漏れてものを汚す原因になります。

必ず行う 本体に飲み物を入れるときは転倒に注意してください。
※飲みものがこぼれてものを汚す原因になります。

次のものは絶対に入れてください。

禁止 ドライアイス・炭酸飲料
※内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

禁止 牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの
※飲み物の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

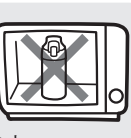


お手入れの際、次の点を必ずお守りください。

禁止 煮沸はしないでください。
※熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。

禁止 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。(パッキンは除く)
※熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。

禁止 電子レンジに入れないでください。
※金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になります。
※熱により部品が変形して漏れてものを汚す原因になります。



必ず行う 大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。
※本体口元の止水部が変形して漏れてものを汚す原因になります。

禁止 改造・分解・修理は絶対にしてしないでください。
※故障・事故の原因になります。



禁止 ハンディポーチのグリップやショルダーヒモを持って振りまわしたり、強く引っばったりしないでください。
※振りまわすなどで周囲の人と接触した場合、けがの原因になります。また強く引っばるとグリップやショルダーヒモが破損する原因になります。

禁止 キャップユニットのフタを開けた状態でキャップユニットの取り付け、取りはずししないでください。
※フタが破損して漏れてものを汚したり、落下してけがの原因になります。

禁止 真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しないでください。
※真空層の水が本体内部にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。



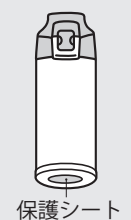
使用上のお願い

みそ汁・スープなど塩分を多く含んだものは入れないでください。
※本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、塩分によりさびや保冷不良の原因になります。

保冷性能が低下した場合は使用しないでください。

バッグなどに入れる場合は万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。また貴重品(携帯電話・カメラ等)と一緒に入れないでください。

保護シートは、はがさないでください。
※保冷不良の原因になります。



持ち運ぶ際はロックリングを確実にロックしてください。

製品の構造上、湿度が高いとき、キャップユニットに水滴が付く(結露)ことがありますのでご注意ください。

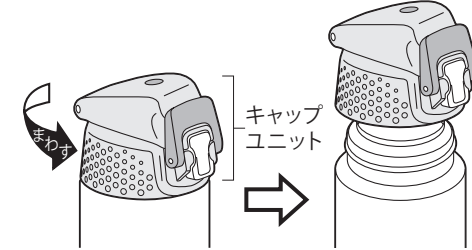
お出かけ前に、製品を逆さにして漏れないことを確認してください。
※漏れた場合はP.10「こんなときは…」の項目をお確かめください。

ご使用条件によってはハンディポーチが色落ち・色移りする場合があります。

使い方

1 キャップユニットをはずす

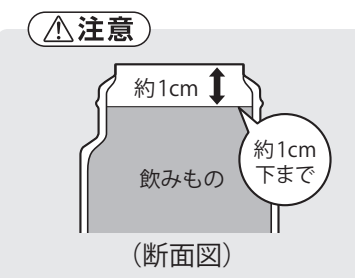
キャップユニットを矢印の方向にまわしてはずします。
《ご使用前に》
キャップユニット・本体内側を十分に洗ってください。【P.7】



2 飲み物を入れる

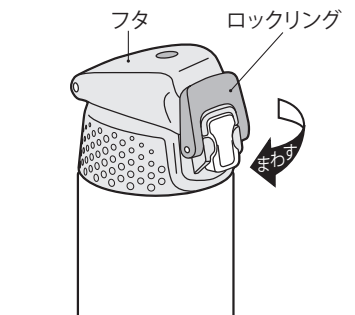
飲み物の量は図の規定位置までにしてください。入れすぎると、キャップユニットを開めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。

本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷すると保冷に効果的です。



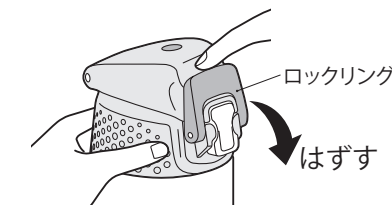
3 キャップユニットを閉める

フタを閉めた状態で、キャップユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めます。
※ロックリングがロックされていることを確認してください。

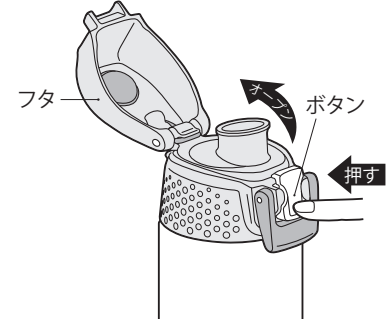


4 飲みものを飲む

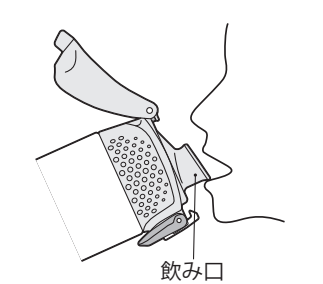
① 本体を立てた状態で、ロックリングを矢印の方向に動かしてはずします。



② ボタン下部を押して、フタを開けます。



③ 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲み物を飲みます。



5 飲み終わったら

① 本体を立てた状態にして、フタを「カチッ」と音がするまで押し、確実に閉めます。

② ロックリングを矢印の方向に動かし、確実にロックします。

